



- みんなで取り組む安全安心まちづくり -

セーフコミュニティ通信

No.87

R5.1

- セーフコミュニティ 各対策委員会の活動から - 防災の取り組み

地域で広がる防災の輪

自然災害から皆さんの暮らしを守るには、地域の防災力を高めることが大切です。防災対策委員会では、校区コミュニティ組織が中心となって、それぞれの地域で活動する「校区防災士」や「防災リーダー」の養成に力を入れています。防災士や防災リーダーは校区内で連携し、防災フェアや防災運動会、図上訓練など、地域ごとに工夫した取り組みが広がっています。

		校区防災士	防災リーダー
活動範囲		校区全体	自治会
活動内容	平常時	校区防災事業の企画・運営など	自治会住民への防災活動啓発など
	災害時	被災・避難状況の確認 避難所運営リーダー など	避難誘導、安否確認 など より身近な人への声かけ



南校区防災フェアでは、校区防災士や防災リーダーが、日頃からの備えの大切さや災害時に役立つ知識などを伝えていました

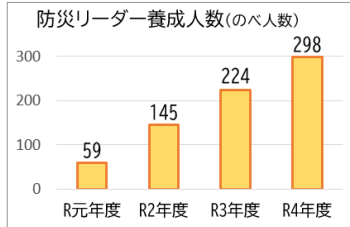
資格や活動に興味のある方は、お住まいの校区や市にお問い合わせください

▶インタビュー



セーフコミュニティ
防災対策委員会
古賀 文雄 委員長

久留米では防災リーダーの養成を始めた4年前から、毎年多くの市民の方が防災リーダーになっています。大変心強く、これからの活躍を期待しています。地域の防災では、様々な視点が大切です。幅広い年代・性別の防災士や防災リーダーを中心に、役割分担しながらみんなで協力しあうことを目標に、取り組んでいます。



動画はこちら

▶みんなでセーフコミュニティ！

災害に備えた対策をしている人の割合
(市民意識調査)

H26年度
56.0%

R3年度
75.6%



『備え』を
心がける人が
増えてるっば！

日頃から
防災袋の準備



災害が起きる前に
ハザードマップの確認



2023年、3回目の国際認証取得までの道のり

事前指導 → 申請書提出 → 現地審査 → 認証取得

【12/20-22】海外の審査員による「事前指導」を実施

各対策委員会の委員長などがオンラインで取り組みを報告しました。審査員からは、「協働による取り組みが非常に良い」「成果のアピールは、申請書と連動させるとより効果的になります」など、認証取得に向けてアドバイスを受けました。

▶ オンラインによる審査員講評の様子



発行元

久留米市セーフコミュニティ推進協議会
(事務局：久留米市協働推進部 安全安心推進課)

〒830-8520 久留米市城南町 15-3
TEL：0942-30-9094 FAX：0942-30-9706
E-mail：anzen@city.kurume.lg.jp

次回のセーフコミュニティ通信 (No.88) は、令和5年3月の発行です。